

大和市の新型コロナウイルス感染症への取り組み

1. 他者への「おもいやり」の心をもってマスク着用を促す条例「おもいやりマスク着用条例」を日本で初めて制定

- ・緊急事態宣言が全国に拡大された4月16日にいち早く制定
- ・他者を思いやる考えにより着用を促すもので、罰則規定はない
- ・無症状の人が感染を拡大させてしまう新型コロナウイルスの特徴に対応
- ・マスクの着用に係る意識啓発により、今後の「新しい生活様式」の定着に貢献

2. 重症化リスクの高い80歳以上の方へ直接的なアプローチを実施

- (1) 80歳以上の方（約16,000人）に対する注意喚起文書の個別送付
 - ・政府による緊急事態宣言発令の10日以上前に実施
 - ・大きな文字で、内容ごとに紙の色を分けるなど「わかりやすさ」に配慮
- (2) 80歳以上の方のための感染予防に関する電話相談窓口の設置
- (3) 80歳以上の方へのマスクの配付

3. 子育て世帯への支援と休校等により在宅時間が増えたこどもへの配慮

- (1) 児童扶養手当受給世帯（約1,700世帯）へ1世帯あたり20,000円の支給
- (2) 市立小中学校の児童・生徒及び児童扶養手当受給世帯へのマスクの配付
- (3) 0～18歳のこどもに図書カード（5,000円分）を配付し、読書活動を推進

4. 衛生対策と市民の不安軽減のため、次亜塩素酸水の無料配布を全国の自治体で最初に開始

- ・消毒用アルコールが市中で入手困難な状況を受けて開始（3月27日～6月30日）
- ・市が自ら生成することで、安定的に供給が可能
- ・配布実績：143,215人、71,608リットル

5. 医師会と連携し、歯科医師会の協力も得て、市役所敷地内にPCR検査体制を確立

- ・市役所敷地の一部を無償で貸与、検査場の設営や物資の調達を協力
- ・安定的に検査を継続できる体制を確立するため、歯科医師会の協力を盛り込んだ協定を全国で初めて締結

6. 市独自の給付金等で、中小企業や個人事業主を支援、雇用も守る

- (1) 大和市中小企業融資制度の信用保証料補助と利子補給金の補助率と上限額の引上げ
- (2) 市独自の「大和市新型コロナウイルス感染症拡大防止および雇用維持給付金」の支給
- (3) 中小企業・小規模事業者を対象とした相談窓口の設置
- (4) プレミアム付商品券の発行